

SNS の“一過性の盛り上がり”を“熱狂的なファン定着”へ。 新サービス「SNS ファンダムコンサルティング」提供開始 SNS 担当者必見「ファン層の固定化」「離脱」を打破する最新ホワイトペーパーを無償公開

株式会社 D2C(本社:東京都港区、代表取締役社長:岡 勇基、以下 D2C)は、SNS 上の特定コミュニティ「ファンダム」を深く分析・攻略し、一過性の盛り上がりの中長期的なファン定着へと昇華させる新サービス「SNS ファンダムコンサルティング」を本日より提供開始します。あわせて、SNS 担当者が直面する「新規獲得後の離脱」や「反応の鈍化」を解決するための実践的ノウハウをまとめた最新ホワイトペーパーを無償公開いたしました。



▼「SNS ファンダムコンサルティング」詳細はこちら

<https://www.d2cid.co.jp/service/sns-fandom/>

▼ホワイトペーパーのダウンロードはこちら

<https://form.d2c.co.jp/@SNS-fandom>

■ 背景:なぜ今「SNS ファンダム」攻略が必要なのか

昨今の SNS 運用において、多くの企業担当者が「新規ファンを獲得しても一過性の盛り上がりで定着しない」「ファン層が固定化し反応が鈍化している」といった課題を感じています。

これらの課題を解決するには、共通の「好き」でつながる「ファンダム」を深く理解し、そのファンが喜ぶ文脈を SNS の運用に取り入れて、定着させていくことが重要です。D2C は、潜在ファンが集まるファンダムを特定し、そのコミュニティの文脈に沿った施策を実施することで、ブランドへのロイヤリティが高い「固定ファン」への転換を支援します。

■ 「SNS ファンダムコンサルティング」の強み

「SNS ファンダムコンサルティング」は、単なるアカウント運用代行にとどまらず、トライブ分析に長けた CX アナリストによる深いリサーチと、総合広告代理店で培った強力な企画実装力を強みとしています。

徹底的なリサーチと分析

「誰が、どこで、何に」熱狂しているのかを CX アナリストが徹底的にリサーチし、ファンダムの特性を明らかにします。

ファンの心理を深く捉えた企画実装

リサーチ結果に基づき、オリジナルアニメ開発、ビッグ IP コラボ、マスタレントの起用、話題化するジェネレーター開発など、特定のコミュニティに深く刺さるクリエイティブを実装します。

定着を促す継続運用

単発の施策で終わらせず、年間 2000 件を超える SNS 投稿の知見を活かし、ファンがなじみ、定着するための継続的な運用支援を行います。

本サービスの提供開始に合わせて、SNS ファンダムをどのように分析し、具体的な施策へ落とし込むべきかを解説したホワイトペーパーを公開いたしました。具体的な事例を交え、どのようにファンダムを攻略し成果がでたのかをご覧ください。

▼「SNS ファンダムコンサルティング」詳細はこちら

<https://www.d2cid.co.jp/service/sns-fandom/>

▼ホワイトペーパーのダウンロードはこちら

<https://form.d2c.co.jp/@SNS-fandom>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 D2C

マーケティング & クリエイティブ事業本部 広報担当

E-mail: info_mc@d2c.co.jp

株式会社 D2C について

2000年6月1日、株式会社NTTドコモ、株式会社電通、株式会社NTTアドの3社合併で設立。2026年1月より株式会社CARTA HOLDINGSの子会社となる。D2Cでは主にNTTドコモが保有するデータを起点とした広告マーケティングソリューションの企画開発事業を中心に、戦略立案からメディアプランニング、データ活用、クリエイティブ、CXなど、デジタル領域を中心に幅広いマーケティング支援を展開しています。

URL: <https://www.d2c.co.jp/>

※株式会社D2Cは、2025年10月1日付で、株式会社D2C Rおよび株式会社D2C IDと合併いたしました。以下のサイトでは、D2Cの各事業領域に関する有益な情報を引き続き発信しております。

D2C マーケティングエージェンシー事業 : <https://www.d2cr.co.jp/>
└ Web マーケティングメディア「CANVAS」 : <https://canvas.d2cr.co.jp/>
D2C マーケティング & クリエイティブ事業 : <https://www.d2cid.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 D2C 経営企画本部 経営企画部 広報担当

E-mail: press@d2c.co.jp

